

じどうしつだより

2020年3月・4月 第23号

# なのはたと ちょうちょう

なのはな

なのはな

ちょうちょうに なあれ



ちょうちょう

ちょうちょう

なのはなに なあれ



『そうさん』まど・みちお詩集 童話屋

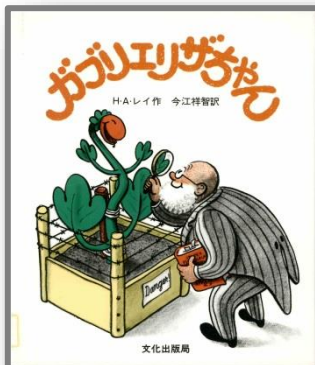
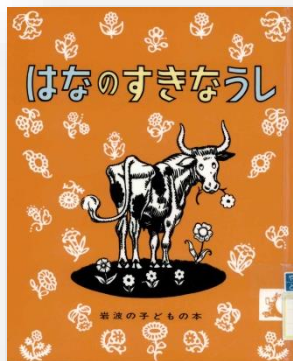
はるやすみに

# ほん この本 よみたいな！

テーマ  
花・はな

子ども読書活動推進員おすすめ

大人にも  
おすすめ



## 『はなのすきなうし』

マンロー・リーフ/文 岩波書店  
ロバート・ローソン/ (やさしいどうわ)  
うし  
牛のフェルジナンドは花のにおいをかいで草原にすわってすごすのがすきでした。ところがある時、闘牛にだす牛をさがしにきた男たちに連れていかれます。フェルジナンドもびっくり！！

## 『ガブリエリザちゃん』

H・A・レイ/文 今江 祥智/訳  
文化出版局 E/レイ  
ガブリエリザちゃんは、ショクチュウショクブツです。近くにきた虫をガブリ！人間の手やおしりもガブリ！とうとう動物園のオリの中へ・・・でも、子どもたちの人気者になったようです。

## 『あかいはな さいた』

タク・ヘジョン/文・絵 岩波書店  
かみや にじ/訳 E/タク  
赤いまつばぼたんが一面に咲いている表紙からはじまって、かんつばき、チューリップ、バラ、あざみと赤い花があでやかに描かれた絵本。添えられた言葉がそれぞれの花を印象づけています。



## 「2年生に 読んでほしい」本」

『こぎつねキッペのかえりみち』  
今村 葦子/作 降矢 かな/絵 ポプラ社  
913/イマ



## 「3年生に 読んでほしい」本」

『タンポポざむらい』  
今江 祥智/作 長 新太/絵  
ポプラ社 913/イマ

けっこんしき  
結婚式のお祝いに花束をかかえていくねずみの行列たちからさそわれたのでキッペも花をつんで花束をもってついていくことにしました。ねずみの結婚式は、花でいっぱい！

きだ いっぺいた  
木田一平太は、かみの毛がたんぽぽのわた毛のようでちょんまげができないことから「タンポポざむらい」とよばれ、お城つとめもやめさせられてしまった。一平太はいくさではてきをうち負かしたが、妹を亡くすと人びとを助けるおぼうさまになったという。

## 『ばらいろのかさ』

アメリー・カロ/文 ジュヌヴィエーヴ・ゴドブー/絵 野坂悦子/訳 福音館書店 E/コト

大人にも  
おすすめ



むら 村のいこいの場所、カフェ「みずたまエプロン」のテーブルにはいつもバラとひなぎくとチューリップの花たばが飾ってある。店をきりもりしているアデルは、太陽のように明るい女性だったが、雨の日はふさいでしまってベッドから起き上がろうともしなかった。

そんな時、店にバラ色の長靴、バラ色のレインコート、バラ色の傘が置いてあり、アデルは不思議に思っていたが・・・それを身につけたアデルにバラ色の嬉しいことが訪れる。

『花の咲く童話集』「1.花さき山」「2.一つの花」「3.うめの花とてんとうむし」



「花」をテーマにしたお話を集めた童話集全3冊。3冊いずれも「花」の詩から始まり、5つ～7つのお話がかかれています。

やさしいことをすると花が咲くという「花さき山」。猫や犬が捨てられる時、野原のたんぽぽは黄色く光りやさしいたんぽぽが現れるという「やさしいたんぽぽ」、お祭りで売っていた“おもいでのだね”を買ったお母さんを思いやるやさしい女の子のお話「そらいろのひまわり」。ほか。

## なぞなぞ

1. みずを おなか  
いっぱい のんで  
きれいな おはなを  
おむかえます

2. すわったまま  
そらを いたり  
きたり  
きっぷも おかねも  
いりません

## タンポポのふえ

タンポポのくきを  
ちぎって くちに  
くわえて ふくと  
プーとおとがでるよ！

